



意 志 を つ な ぐ

2018年東商は創立140周年を迎えました

勇気ある 経営大賞

第16回

実施報告

2018

イノベーションを起こすのは、
決してあきらめない**勇気**だ。

 東京商工会議所



目次

会頭あいさつ	2
実行委員長あいさつ	3
選考にあたって	4
社長に訊く「勇気ある経営」	5
奨励賞受賞企業の紹介	15
第16回「勇気ある経営大賞」実施概要	17
過去受賞企業一覧	20

受賞企業一覧

大賞	日本電鍍工業株式会社	5
優秀賞	株式会社飯田	7
	エコサイクル株式会社	9
特別賞	英弘精機株式会社	11
	株式会社エジソン	13
奨励賞	株式会社イリモトメディカル	15
	株式会社エス・ティ・ジャパン	15
	小倉鉄工株式会社	15
	有限会社篠原紙工	15
	株式会社田中電気研究所	15
	株式会社ちんや	16
	東京ライト工業株式会社	16
	株式会社トーリツ	16
	株式会社ナウケミカル	16
	株式会社西川精機製作所	16
	日本エンドレス株式会社	16

※同賞内は社名50音順

会頭あいさつ

東京商工会議所 会頭

三村 明夫



今回で第16回目を迎える「勇気ある経営大賞」は、過去の実績や経験に拘泥することなく理想を追求し、常識を打破しつつ高い障壁に挑むなど経営者の“勇気ある挑戦”を称える、他に類のない賞です。応募のあった149社は、業種や業態はさまざまでしたが、いずれも経営者の高い志と独創的なアイデアや工夫を持って、課題に挑戦する企業ばかりでした。

とりわけ、今回、受賞された企業は、倒産の危機にあった会社の再建に向け、知恵を振り絞り、果敢に挑戦し乗り越えた企業や、当時、主流ではなかった微生物を用いた土壌地下水汚染の浄化技術を改良し低コスト、短工期の実現に取り組んだ企業など、勇気ある挑戦が課題を解決し、成長につながることを示した好事例であります。

わが国における中小企業は、企業数で99.7%、従業員数で約70%、給与支払い総額では約55%を占めるなど、日本経済において非常に重要な位置を占めています。また、日本が今、直面している多くの構造的課題も、中小企業に最も早く深刻な形で表れており、中小企業自らがこれらの課題を解決することが、日本全体の課題をいち早く解決することに必ずつながると考えています。

現在、中小企業が直面している3つの深刻な課題、それは、「人手不足」、「中小企業経営者の高

齢化、後継者不足」、「国内マーケットの停滞と海外展開」です。

これらの課題を解決するためには、中小企業自らが困難や課題に立ち向かい、あきらめずに挑戦し、道を切り拓くことがなによりも重要です。今回、受賞された企業は、後に続く中小企業へあきらめない勇気と前向きなヒントを与え、さらに、これから挑戦しようとする企業にとっては付加価値や生産性の向上に向け取り組むためのきっかけとなるものと思います。

こうした一つ一つの勇気ある挑戦が大きな流れとなり、中小企業全体にイノベーションの波を起こし、日本経済のさらなる成長につながっていくことを期待しています。

また、今回惜しくも選に漏れた企業も、その取り組みには輝くものが多く、今後、大いに期待したいと思います。ぜひとも困難に立ち向かう勇気ある挑戦を続けていただき、再度ご応募をいただければ幸いです。

末筆となりましたが、受賞されました企業の皆様の一層のご活躍にご期待申し上げるとともに、本賞の実施にあたり、ご推薦をいただきました関係各機関、ならびに選考に携わっていただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

実行委員長あいさつ

「勇気ある経営大賞」実行委員長
東京商工会議所 副会頭

伊 東 孝 紳



第16回を迎えた「勇気ある経営大賞」は、例年同様多数のご応募をいただきました。最終選考に残った企業をはじめ、ご応募いただいた企業の多くはあらゆる困難や障壁にぶつかりながらも、自らの手で新たな時代を築き上げた素晴らしい企業でした。

今回はその中から、大賞1社、優秀賞2社、特別賞2社を選出いたしました。また今後本賞を受賞することが期待される企業に対し、奨励賞11社を選出しております。この場を借りまして募集や選考に当たりご尽力いただいた皆さまには厚く御礼を申し上げますとともに、本顕彰制度に応募された全ての企業に感謝を申し上げます。

大賞の日本電鍍工業は、老舗の金属めっき加工会社です。創業者であったお父様が急逝し、経営幹部を担っていた社員が会社を引き継ぎましたが、将来性を見誤った設備投資等により、倒産の危機に見舞われます。そのような時に宝石鑑定士を目指し、米国留学中だった現社長は急遽帰国して、父の築いた会社の存続と、社員を守るために周囲の反対を押し切り経営の経験もないまま社長に就任しました。自社の経験を生かせる医療・健康・美容分野にターゲットを絞り、カテーテルを先導するガイドワイヤーへのめっき加工の成功を機に、再建に導きました。優秀賞2社には、料理道具から店舗装飾等幅広い品揃えの店舗から、プロの料理人から一般家庭まで料理道具のみ

8,000点もの品揃えを誇る専門店で転換し財務改善をした飯田、土壌汚染調査から自社開発バイオ浄化剤による工事までワンストップサービスを敢行したエコサイクルを選出しました。特別賞2社には、気象観測用の計測機器の自社開発に取り組み、全天候型分光放射計などの開発に成功し、世界の主要な研究機関へ独占販売されるまでに成長した英弘精機、産業廃棄物管理システムのパッケージソフト開発から、基幹システムの開発へと挑戦したエジソンを選出いたしました。

実行委員長として参画し実感したことは、受賞した各企業の経営者は高い理想を抱き、強い信念を持ち、自社技術や特性を生かした独自性にこだわっていることです。このことが厳しい経営環境を乗り越え、他社との差別化を生み企業をさらなる成長に導いています。企業規模に関わらず、中小企業の力強さの一端を垣間見て、大変勇気づけられました。

私ども東京商工会議所は、このような「勇気ある経営」を体現した企業の活動を広くPRすることで、後に続く多くの企業に、夢と挑戦する勇気を与えることが出来ると考えています。今回惜しくも入賞を逃した企業においても、勇気ある経営活動を継続・進化させ、是非再度チャレンジしていただきたいと思います。

今後とも本顕彰制度へのご支援、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

選考にあたって

「勇気ある経営大賞」選考委員長
国際大学 学長

伊 丹 敬 之



経営者の多様性（ダイバーシティ）、事業後継者による大きな方向転換、環境関連事業の進展、この三つが私も多くの選考委員も、今年の『勇気ある経営大賞』受賞企業の内容から共通に感じた大きな印象であろう。この三点を重点項目として選考を行なったわけでは全くないが、結果として東京の中小企業の経営の方向性として、望ましい三つの方向性が出てきてくれた。それを選考委員長としては素直に喜びたい。

経営者の多様性とは、大賞と優秀賞の受賞企業、日本電鍍工業、エコサイクル、飯田、の三社の経営者を見ていただければ、すぐにご理解頂けるだろう。三社の順に言えば、女性、外国人、若手、なのである。しかも、この三社は、事業後継者が大きな方向転換をあえて行なった事例でもある。

日本電鍍工業は、畑違いの人生を歩んでおられた女性がお父様の死去をきっかけに家業を継ぐことになり、最初は周囲の冷たい視線を受けながら、しかし粘り強く説得を重ねて古い技術のめっきの世界で大きな方向転換をとげられた例である。大変な逆境の中でそもそも経営をお引き受けになられた勇気、新しい方向をめざした勇気は、まことに大賞にふさわしい。

エコサイクルは、インドからの留学生が富山の創業間もない企業に就職し、やがて社長となり、思い切って業態拡大と東京進出に決断された例である。これも、ご自身が開発の関与された土壌汚染改良技術をもとに大き

な方向転換を見事に成功させた。

飯田は、古くから続いたかつば橋道具街の料理関連卸問屋を、若い後継者がじつにユニークな商品ばかりを集める小売店に転換させた例である。おろし金だけでも160種類もあるとは、じつに驚きである。

エコサイクルも環境関連事業だが、特別賞を受賞されたエジソンと英弘精機も、広い意味で環境関連事業である。エジソンは産業廃棄物処理のソリューションをITシステムとともに提供され、英弘精機は気象環境関連の計測機器でユニークな機器を提供されておられる。これからはたしかに地球環境関連の事業の発展が期待される中で、今年の受賞企業のうち三社までがその分野であったことは、東京地域の特性を発揮するものとして、大いに喜びたい。

多様性のある経営者による大きな事業転換が行われたことは、今後の東京の中小企業の動きを示唆するものとして、選考委員が勇気を与えられた。そしてその転換の方向自体も、これからの日本を考えると意義深い方向ばかりである。

質の高い受賞企業を選出できたことを、選考委員会として大いに喜びたい。そして、例年のことだが、選考のための現場調査などをご担当頂いたワーキンググループの委員の方々には、夏の暑い盛りに作業をしていただいた。さらに、惜しくも三次選考にもれた多くの企業の方々にも調査をご協力頂いた。みなさんのご努力に、心から感謝したい。



日本電鍍工業 株式会社

代表取締役社長 伊藤 麻美

受賞
理由

- 会社経営の経験がない中、父が創業した会社と支えてくれた従業員を守るという強い信念をもって、過去の実績に拘泥することなく、倒産寸前の会社を再建したこと。

日本電鍍工業 株式会社

事業
内容 金属めっき加工業

- 本社所在地：〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町1-137 ※都内:港区
- 業 種：製造業
- 創 業：1956(昭和31)年
- 従業員数：63人
- 資 本 金：1,000万円

倒産の危機。
絶対できると信じ抜く「勇気」。

父が創業した会社と社員を守りたい。再建に向け社長就任を決断

当社は1956年に父が創業した会社で金属めっき加工を手がけています。創業者の父はいくつかの会社を立ち上げ、当社は経営幹部を担っていた社員が会社を引き継ぎ、当時は腕時計のめっき加工が売上の9割を占めていました。父は一業種依存に対して懸念を抱いていましたが、91年に急逝。当時の社長はその後腕時計に固執し設備投資を行います、バブル崩壊の影響と取引先の生産拠点の海外移転などで、業績は低迷。2000年には売上4億円弱で、借入金10億円以上、さらに一部債権は整理回収機構に渡ってしまうなど、危機的な状況でした。

私は大学を卒業してから、ラジオでDJを務めた後、米国に渡り、宝石鑑定士の道を歩もうとしていました。99年、当社が倒産の危機にあるとの報を受け、帰国。会社の清算に向け話し合いを進めていました。しかし

会社の実情を知る中で、父が創業した会社への想いとこれまで成長を支えてくれた従業員やその家族の生活を守りたいという気持ちが強くなり、社長就任を決断しました。いざ着任すると、毎日のあいさつも無視されるほど、創業家から来た社長を待つ環境は厳しいものでした。私はあきらめずに声をかけ続け関係を築き、社内風土の改革、資金繰りへの対応に取り組みしました。

社長に就いた時、決めていたことは決してリストラはしないということ。従業員がいてはじめて会社は成長します。生き残りをかけ、自社の技術を活かすことができる分野は何かと考え、健康、医療、美容分野にターゲットを定めました。

ある医療メーカーからカテーテルを先導するガイドワイヤーのめっき加工の打診が来ました。多くの社員が不可能と声をあげるなか「自分たちはできる」と説得し

鼓舞。2人が手を上げ、数ヶ月をかけなんとか開発に成功します。この体験が社員の意識と行動を変え、03年には黒字化、06年には金融機関からの借換支援を受け資産繰りも安定させ、18年決算では8億円まで売上を伸ばすことができました。医療、楽器、電子部品、宝飾、時計と、一業種一社のみに依存しない多品種少量生産をさせることができました。

これからは100年続く企業を目指し、人を育てていきたいと思っています。リーマンショックの時にも10名採用しました。また、16年には数億円かけて生産設備をリニューアル。「こんな時に国内で設備投資なんて」という声もありましたが、チャレンジをしないと会社は成長しません。次の世代にどうやって技術を受け継いでもらうかが課題。ものづくりの楽しさ、想像力の豊かさを次の世代に託していきたいです。



- 1 2016年に工場設備をリニューアルし更なる飛躍を目指す
- 2 100年企業に向け人材育成にも取り組んでいる
- 3 地域への貢献も重要な使命のひとつ。子供たちを招いての見学会は恒例となった





株式会社 飯田

代表取締役社長 飯田 結太

受賞
理由

- 経営危機に際して顧客の「これが欲しかった」に応えるため、社内外からの反対を受けながらも事業を見直し、大きく業績を改善したこと。

株式会社 飯田

事業
内容 厨房用品専門販売業

- 本社所在地：〒111-0035 東京都台東区西浅草2-21-6
- 業 種：小売業
- 創 業：1912(大正元)年
- 従業員数：6人
- 資本金：1,000万円

お客様の“これが欲しかった”に応えられる料理道具専門店へ

当社は「かっぱ橋道具街」に店を構える包丁やおろし金などを取り扱う料理道具専門店です。1912年に創業し、精肉店用品専門店として繁盛していましたが、時代の変化を受け飲食店に必要な用品全般へと事業を拡大。結果、特徴のない品揃えとなり3億7,000万円あった売り上げは1億円程まで激減。当時、母が経営していたのですが「何とかしたい」と思い、2009年に当社へ入社しました。

売上を確保しようと、まずは安売りに手を付けました。安く売るため、利益を削り、品質の悪い商品にも手を出しました。しかし、売上は減少の一途。さらには「扱っている商品の品質が悪くなってるよね」と、お客様からの信頼も失っていったのです。

もがき苦しんでいた時、和食店を経営される方が立ち寄られ、舌触りを良くする繊細な刃を持つおろし金を

探していると言われました。お客様の期待に応えようと奔走し、何とか見つけ提案すると、高額にもかかわらず「これが欲しかったんだ!」と納得して購入いただきました。この経験をもとに、お客様の“これが欲しかった!”と思える商品をちゃんと取り揃えることができれば満足してもらえると確信。料理道具だけに特化し、お客様のニーズに応えられるお店を作ろうと決心しました。

当時、料理道具は当社の売上の20%ほどでしたが、残りの80%を占めていた商品の取り扱いを全てやめ料理道具のみに絞り在庫を増やすこの案は、コンサルタントや社員から、「既存のお客様との取引をなくすのか」、「成功するはずがない」と反対されました。それでも私は説得し反対を押し切って改革を進めていきました。社員には「売れない売り方はあるが、売れない道具はない。売ることを目的にするのではなくお客様を笑顔にすること

を大事にしよう」と訴え、1個1個の道具を実際に使ったうえで、販売することを徹底。メーカーが用意した言葉ではなく自分たちが感じた本当の感想を伝えられるようになり、結果、お客様からの信頼も得ることができました。

通常のお店ではフライパンの品揃えは10種ほどですが、私たちは約200種を用意。おたまも1cc単位で取り揃え2,000種を超え料理道具だけで8,000点を誇る専門店へと変えていきました。今では、当店なら専門家に話を聴きながら商品を買うことができると名指しで来ていただけるようになりました。

低迷していた売上は3億円以上に伸び、粗利率も安売りをしていた頃と比べて大幅に改善。お客様の声を基に仕入れを行うことで懸念された過剰在庫も抑制できました。これからもお客様の“これが欲しかった”に応えられる店を目指していきたいと思います。

お客様に応えたい。
過去を振り切り
自分の想いを貫く「勇気」。



- 1料理道具に特化し、膨大な数の商品の使い方にも熟知した売り方が人気を呼ぶ
- 2フライパンだけでも200種を超える品揃えを誇る(通常10種類ほど)
- 3おろし金の品揃えは160種類(通常3種類ほど)





エコサイクル 株式会社

代表取締役社長 シュリハリ チャンドラガトギ

受賞
理由

●顧客の悩みに向きあい、微生物の力を用いた土壌浄化に関する画期的な技術開発と事業化するまでのあきらめない強い信念をもって、業績を大きく伸ばしたこと。

エコサイクル 株式会社

事業
内容 土壌汚染調査、浄化工事、水処理、
浄化剤の開発・製造・販売

- 本社所在地：〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-28-1
- 業 種：建設業
- 創 業：1999(平成11)年
- 従業員数：40人
- 資本金：7,915万円

お客様の課題解決に向け、ワンストップサービスを展開

当社は工場やガソリンスタンドなど汚染された土壌向けの浄化剤製造、汚染調査及び浄化工事などを一貫体制で手がけています。私は1998年、27歳のときに文部省のフェローとしてインドから来日。任期終了後は母国に戻り大学院講師を務める予定でした。しかし、新聞に掲載されていた富山県を拠点とする「エコサイクル」の求人を見て、売上がゼロの会社にも関わらず入社を決意。自分の持っているバイオの知識で環境問題に取り組みたいという夢があり、ここなら叶えられると思ったからです。

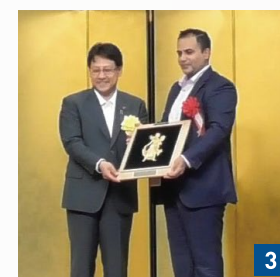
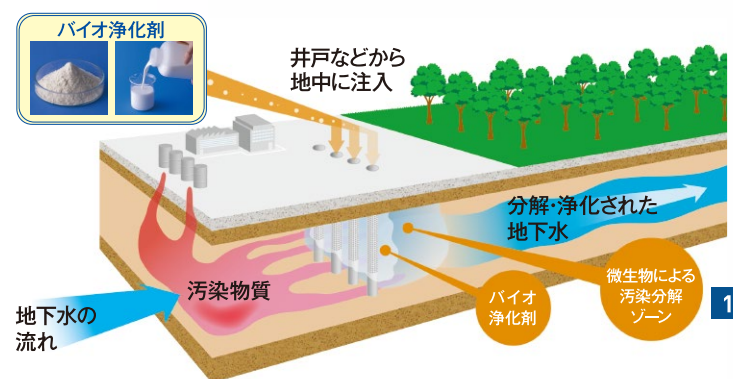
私が入社した2000年は、土壌汚染対策と言えば土を掘削して入れ替える方式が主流。微生物の力を用いた浄化技術は年単位の時間を費やすうえ、処理能力のバラつきがあることから普及していませんでした。入社直後から、米国の環境浄化会社を訪問し、技術

を探すとともに、富山県から支援を得て開発を進め、バイオレメディエーション技術の開発に成功。この技術により、工場の稼動に影響がなくコストも3分の1に抑える製品の販売にこぎつけました。

しかし、設備投資などが重なり05年に赤字に。創業者である先代から社長就任を打診され、数千万円の借金を個人で保証し社長に就任しました。社長に就任したのは、この技術を広く活用してもらいたい、協力してくれた企業や従業員のことを思い「ここであきらめたくない」と強く感じたからです。初めに自身の役員報酬を8割削減。代理店の大手商社に同行してゼネコンなどのエンドユーザーへ説明していった結果、成果が出てきました。一方、販売が拡大する中で、富山にはお客様の本当の悩みやニーズを把握しきれないもどかしさを感じていました。

お客様の真の課題を解決するために、会社の東京移転を決断。半年かけて従業員を説得したのですが、大半の社員が退職。技術が失われる危機でしたが、何とか体制を整えて移転しました。お客様の声をより聞けるようになると、うまくいっていない現場に出会うこともありました。調査から施工までトータルでやらないと、お客さまのためにならないと痛感し、製造から施工までやる建設分野への進出を決断。リスクの多さから周囲からは反発されましたが、周囲を説得するとともに施工会社とのジョイント工事によりワンストップサービスを展開。浄化剤の特性を知る自分達が携わることで、従来難しいと言われた工事にも対応することができました。

インドをはじめ、世界では汚染による健康被害で多くの人が悩んでいます。私達の技術で環境問題を解決できるよう取り組んでいきたいと思っています。



- 1 土壌浄化のイメージ
- 2 インドの地下水汚染に関する法整備支援のためにインドの外務大臣から招待を受ける
- 3 環境賞「環境大臣賞」を受賞

お客様の本当の悩み。
課題に向き合い
あきらめず挑戦する「勇気」。





英弘精機 株式会社

代表取締役社長 長谷川 壽一

受賞
理由

- 経営危機を経て、自社のものづくりに活路を見出し、製品開発に挑戦。アメリカ、ドイツをはじめ主要な研究機関で使用される環境測定器を開発する世界でも認められる会社に成長させたこと。

英弘精機 株式会社

事業内容 理化学機器、計測機器、
光学機器の製造及び輸出入販売

- 本社所在地：〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1-21-8
- 業 種：製造業
- 創 業：1927(昭和2)年
- 従業員数：86人
- 資本金：4,000万円

困難を乗り越え、グローバル競争の中、ニッチトップを目指す

当社は1955年に太陽からの日射量を計測する日本初のドーム型日射計を開発し、気象庁に導入されるなど、気象機器ビジネスでは長い歴史を持っています。90年当時、私は商社で海外に赴任していましたが、義父で当社先代の社長に誘われ入社しました。

入社してから知ったのですが、社員の独立により売上の約3割強を占めていた輸入品の販売代理権を失い、さらに社員の競合他社への転職が相次ぎました。15億円あった売上が8億円へ半減し、また製品開発の停滞もあり、気象庁などに独占販売していた日射計も他社に奪われてしまいました。

この状況を打破するため、まず商社にいた経験を活かし当社の強みである計測機器分野で輸入販売代理権の拡大に取り組みました。自身が中心となって海外サプライヤーの協力を得て、新規代理店獲得のた

め展示会などを周り、15年間で15件の代理店を獲得。90年代後半には売上も15億円台にまで回復し、経営が安定してきました。

輸入代理業のみでは将来的にいつ代理権を失うかわかりません。そこで海外企業への出資を通じた製品の確保に動きました。2001年ごろオランダとドイツの企業に買収も視野に出資しますが、うまく行かず、結果、投資損失を1億5,000万円ほど出してしまいました。この失敗を受け、私たちの原点であるものづくりにこだわろうと、自社製品の開発・強化に取り組みました。03年より研究開発や製造に携わる人材の新規採用により増員し、また大学との産学連携による共同研究をスタート。05年の米国を皮切りに、オランダ、香港と海外拠点をつくり、技術の最先端の動向を把握するとともに海外販売代理店網を構築していきました。

開発にかかった費用は人件費などを含めて12年間で20億円を超えます。海外での動向を積極的に製品開発に活かすことで、少しずつ実を結んでいきました。中でも、「全天候型及び携帯型分光放射計」は米国立再生可能エネルギー研究所をはじめ、世界的な研究機関へ独占的に販売するなど高い信頼を獲得することができました。

結果として、今ではグローバルな競争の中で、ニッチトップの位置を占める新製品を誕生させることができました。国内においても、気象庁のアメダスと地上気象観測網に新型の日照計と日射計を納入することができました。19年の製品化を目指しゲリラ豪雨などの予報・防災に貢献する製品の開発に取り組んでいます。

常に新しい技術に挑戦し、規模は小さくなくても、世界で存在感のある会社を目指しています。

- 1 全天候型及び携帯型分光放射計などのユニークな新製品でグローバル化を進める
- 2 大型のソーラーパーク事業にも同社の機器が随所で活躍する
- 3 気象庁のネットワーク(アメダス・地上気象観測網)にも機器を供給している



度重なる困難。
ものづくりに活路を見出し
ひたむきに進む「勇気」。





株式会社 エジソン

代表取締役 須永 裕毅

受賞理由

- 年商に匹敵する開発投資、未経験の事業分野への挑戦を通じ、会社の成長と福島復興事業のシステム開発に成功、ITを駆使して環境問題の解決に貢献していること。

株式会社 エジソン

事業内容 環境・廃棄物管理システム・サービスの提供

- 本社所在地：〒305-0033 茨城県つくば市東新井31-13 ※都内：千代田区
- 業種：情報通信業
- 創業：1994(平成6)年
- 従業員数：186人
- 資本金：15,030万円

年商に迫る開発投資を決断。
未来を見据え
困難に立ち向かう「勇気」。

年商に匹敵する開発投資を実行。ITを駆使して環境問題の解決に貢献

当社は廃棄物処理業者向けに、排出から収集、運搬、処分における契約、コンテナ管理、記録をはじめとする業務効率化システムなどを開発・販売しています。

私が創業した1994年当時は、ITが大変注目を集めている時期でした。私自身はプログラム開発ができないにも関わらず、これからの時代の流れだと感じ突き進んでいきました。その後、廃棄物を運搬するトラックの積載量を計測するためのシステム開発に取り組んだきっかけから、98年に廃棄物業界向けシステムに参入しました。

パッケージ商品を軸に、当社も大きく成長したのですが、取引先の事業大型化に我々の商品が対応しきれずにトラブルが増えてきてしまいました。原点に立ち返り、ITで環境問題に挑み、課題を解決しようという思いを強く抱き、個々のパッケージではなくトータルに解決する大型の基幹システムの開発に取り組んだのです。

開発ノウハウがないなかでコンサルタントを入れて取り掛かりましたが、何度も失敗しました。開発経験のない自分を中心となってプロジェクトを引っ張っていくことに。借入金もどんどん膨れ上がりましたが「先のことを考えるのはやめよう。今日がすべてだ!」の気持ちで、10億円の売上もない時代に足かけ3年、約6億円の投資を行い、なんとか開発に成功しました。

こうした経験があったからこそ、東日本大震災後のがれきを処理するための輸送システムを手がけることができました。さらに福島県の除染土壌輸送を担当する大手建設会社から輸送管理システムを任せさせていただきました。2,200万㎡(東京ドーム18個分)という大量の土壌を中間貯蔵施設へと運搬する大プロジェクト。通常は大手IT企業が請け負う規模の業務で、一時は辞退も考えましたが「社会的意義がある。チャレンジ

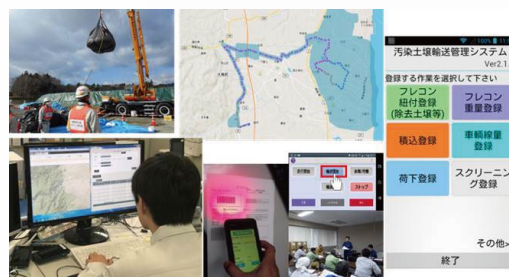
しよう」との思いが後押ししました。全車両のGPSによるリアルタイム監視が必要なシステムを開発し、2015年のパイロット輸送、17年の本格輸送の開始に貢献できたと思います。

その後も人材をどう育てていくかなど、ひとつひとつの課題をクリアしながら現在に至っています。またシステム開発時に経験した国内における人材不足の解消のため、14年にベトナムと中国に拠点を設け海外進出も始めました。

今、当社は業界でも高い信頼をいただき、多くの企業の皆様にご利用いただいています。様々な経験を経て、企業は組織と仕組みで成り立つものだ痛いほど経験しました。挑戦があったからこそ、現在があると思っています。今後もITを駆使して、環境問題の解決に貢献していきたいと思っています。



1



2

- 1 除染土壌輸送の現場でシステムの端末を操作する様子
- 2 福島復興事業における除染・輸送・中間貯蔵の管理システム



受賞企業一覧 (11社・50音順)

奨励賞とは

革新的な製品・サービスやビジネスモデルを生み出すための努力がみられ、総合的な観点から今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞されることが期待される企業に贈られるもの。

株式会社 イリモトメディカル

代表者 煎本 正博

■ 本社所在地: 文京区 ■ 業種: サービス業

■ 事業概要: がん検診の遠隔診断

表彰ポイント 地方や小さな病院にも高レベルな画像診断サービス提供への挑戦

株式会社 エス・ティ・ジャパン

代表者 中川 孝郎

■ 本社所在地: 中央区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: 精密機器開発製造、輸出入販売、スペクトルデータベース構築、販売

表彰ポイント 世界最大のスペクトルデータベース構築への挑戦

小倉鉄工 株式会社

代表者 小倉 英夫

■ 本社所在地: 足立区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: 精密冷間鍛造業 (超高級自転車ペダル軸、自動車部品、建築部品等製造)

表彰ポイント 特殊鍛造技術の開発により高品質・低コストでの製造法を確立

有限会社 篠原紙工

代表者 篠原 慶丞

■ 本社所在地: 江東区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: 印刷・製本・紙製品商品の企画製造販売

表彰ポイント 高い技術力を活かしたユニークな商品開発による脱下請けと自社ブランド構築の挑戦

株式会社 田中電気研究所

代表者 田中 敏文

■ 本社所在地: 世田谷区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: 産業用電子機器の開発製造販売

表彰ポイント 下請けと自社製品メーカーとのバランス経営と自社製品のJIS規格制定への挑戦

株式会社 ちんや

代表者 住吉 史彦

■ 本社所在地: 台東区 ■ 業種: サービス業

■ 事業概要: すき焼きを中心とする飲食店、食肉小売業

表彰ポイント 格付けや等級ではなくすき焼きにあった肉の提供に向けた挑戦 (適サン宣言)

東京ライト工業 株式会社

代表者 崎村 孝

■ 本社所在地: 台東区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: プラスチック製容器製造業

表彰ポイント 大規模な設備投資を投じた泡ディスペンサーと空気に触れない容器製造への挑戦

株式会社 トーリツ

代表者 鈴木 恵里子

■ 本社所在地: 葛飾区 ■ 業種: サービス業

■ 事業概要: 居宅介護支援、訪問介護、訪問看護、通所介護、グループホーム他

表彰ポイント 介護業界における働き方改革への挑戦

株式会社 ナウケミカル

代表者 金城 純一

■ 本社所在地: 葛飾区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: めっき加工業

表彰ポイント 高い技術力への挑戦と高付加価値事業への転換

株式会社 西川精機製作所

代表者 西川 喜久

■ 本社所在地: 江戸川区 ■ 業種: 製造業

■ 事業概要: 金属加工・機械製造

表彰ポイント 障がい者向けボウリング投球補助器、国内唯一のアーチェリー弓具製造への挑戦

日本エンドレス 株式会社

代表者 成毛 義光

■ 本社所在地: 板橋区 ■ 業種: サービス業

■ 事業概要: ダストコントロール製品の製造・販売・レンタル、使い捨ておしぼり等の製造・販売

表彰ポイント 医療分野への販路拡大と買収した企業の黒字化への挑戦

I 「勇気ある経営大賞」とは

過去に拘泥することなく高い障壁に挑戦し、理想の追求を行うなど、“**勇気ある挑戦**”をしている企業を顕彰する制度です。
本顕彰を通じ、後に続く企業に勇気を与え、ひいては経済の活性化に資することを目的としています。

II 選考の流れ

第一次選考書類審査 ▶ 第二次選考書類審査 ▶ 第三次選考実地調査 ▶ 最終選考プレゼンテーション審査 ▶ **受賞企業決定**

III 選考基準

本賞では、過去に拘泥することなく大きく経営の舵をきる決断を下し“勇気ある挑戦”をしている企業を評価します。“勇気ある挑戦”の取り組みの結果、得られた製品・サービスや、経営理念・経営手法を中心に選考を行い、業績・財務状況は副次的参考要素にとどめます。

“勇気ある挑戦” とは？	大きなリスクに 挑戦したか	高い障壁に挑んだか	常識の打破に 挑戦したか	高い理想の追求を 行ったか
	①挑戦した背景や動機、②挑戦の内容、③挑戦が生んだ成果を“勇気ある挑戦”として、評価します。			

製品・サービス	経営理念・経営手法	業績・財務状況
① 革新性・独自性・優位性 ② 技術・技能・ノウハウ ③ 市場性・成長性・社会性	① ビジネスモデル・成長戦略 ② 人材の育成・活用 ③ コンプライアンス、環境対策、社会貢献活動 など	① 財務基盤 ② 収益性・成長性

※選考に際しては、過去の顕彰・表彰実績や大企業との資本関係の有無等を考慮する場合があります。 ※創業時の取り組みについては、その内容とそれに伴う成果や実績を明確に記載することが必要となります。ただし、創業自体をもって、“勇気ある挑戦”として評価することはありません。 ※技術大賞とは異なり、製品・サービス内容における技術的優位性などはあくまで評価項目の1つとなります。

応募資格について

次の①②のいずれにも該当する企業もしくは企業グループ（自薦・他薦は問わない）

- ①中小企業基本法に定める 中小企業※で非上場企業 ※資本金3億円以下または常時雇用する従業員300人以下の会社。ただし、卸売業の場合は資本金1億円以下または従業員100人以下、小売業の場合は資本金5,000万円以下または従業員50人以下、サービス業の場合は資本金5,000万円以下または従業員100人以下。みなし大企業はご応募できません。
- ②東京都に事業活動の拠点（支社、支店、工場、営業所、事務所等）を置く企業
但し、一都八県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、群馬県、茨城県、栃木県、山梨県、静岡県）に本社機能がある企業に限る。
なお、東京商工会議所への入会・未入会は問わない。

IV 受賞の特典

受賞企業には、顕彰式典にて顕彰状、トロフィー、賞金を贈呈する他、フジサンケイビジネスアイ等の各種メディアを通じて社会一般に広く周知いたしますので、企業の知名度・信用力の向上はもとより、営業力の強化や経営改善等にもお役立ていただけます。

※選考の結果、大賞に該当する企業がない場合や複数企業が賞となる場合もあります。複数の企業が賞を受賞された場合、大賞賞金額の範囲内で等分するものとします。 ※特別賞は、極めてユニークな取り組みやキラリと光る個性を持った企業に贈賞します。 ※総合的な観点から、今後、大賞・優秀賞・特別賞を受賞することが期待される企業に、奨励賞を贈賞します。



V 第16回「勇気ある経営大賞」運営組織における委員構成

(敬称略・順不同)
2018年10月1日現在

実行委員会 本事業の運営を統括

委員長	伊 東 孝 紳	東京商工会議所	副会頭・ものづくり推進委員長（本田技研工業株式会社 取締役相談役）
委員	大久保 秀 夫	東京商工会議所	副会頭・中小企業委員長（株式会社フォーバル 会長）
委員	下 村 節 宏	東京商工会議所	特別顧問・工業部会長（三菱電機株式会社 特別顧問）
委員	伊 丹 敬 之	国際大学 学長	
委員	望 月 晴 文	東京中小企業投資育成株式会社	社長
委員	上 坂 徹	フジサンケイビジネスアイ	社長

選考委員会 選考の統括ならびに最終選考（プレゼンテーション審査）を担当

委員長	伊 丹 敬 之	国際大学 学長
副委員長	望 月 晴 文	東京中小企業投資育成株式会社 社長
委員	鵜 飼 信 一	早稲田大学商学学術院 教授
委員	渡 辺 元	東京商工会議所 常議員・中小企業国際展開推進委員長（渡辺パイプ株式会社 社長）
委員	今 野 由 梨	ダイヤル・サービス株式会社 社長
委員	長谷川 裕 夫	東京都立産業技術研究センター 理事・開発本部長
委員	保 坂 政 彦	東京都中小企業振興公社 専務理事
委員	間 部 彰 成	東京商工会議所 理事・事務局長

選考ワーキンググループ 第二次選考（書類審査）・第三次選考（実地調査）を担当

座 長	鵜 飼 信 一	早稲田大学商学学術院 教授
委員	井 上 考 二	株式会社日本政策金融公庫 総合研究所 主席研究員
委員	大 村 智 之	東京中小企業投資育成株式会社 ビジネスサポート部長
委員	清 水 郁 男	東京都中小企業振興公社 総合支援部 総合支援課長
委員	四ッ柳 茂 樹	株式会社OCL 代表取締役
委員	大 高 直 美	東京都中小企業診断士協会 副会長
委員	藁 品 和 寿	信金中央金庫 地域・中小企業研究所 主任研究員
委員	篠 原 令 広	フジサンケイビジネスアイ 取締役
委員	山 下 健	東京商工会議所 中小企業部長

第一次選考委員 第一次選考（書類審査）を担当

委員	遠 藤 啓 治	中小企業診断士	委員	佐 川 博 樹	中小企業診断士
委員	大 橋 信太郎	中小企業診断士	委員	松 浦 徹 也	中小企業診断士
委員	小 野 晴 世	中小企業診断士	委員	松 原 和 枝	中小企業診断士
委員	坂 本 篤 彦	中小企業診断士	委員	渡 辺 孝	中小企業診断士

Ⅵ 募集期間・応募総数

募 集 期 間	2018年1月11日(木)～3月9日(金)		応 募 総 数	149社	
業種別内訳	合計	149社			
製造業	49 社	(32.9%)	運輸業	3 社	(2.0%)
サービス業	38 社	(25.5%)	その他	3 社	(2.0%)
情報通信業	21 社	(14.1%)	金融・保険業	1 社	(0.7%)
卸売業	14 社	(9.4%)	不動産業	1 社	(0.7%)
建設業	12 社	(8.0%)			
小売業	7 社	(4.7%)	合計	149 社	

Ⅶ 選考過程

第一次選考会(書類審査)	第三次選考会(実地調査審査)
4月19日(木)・26日(木)	8月8日(水)
第二次選考会(書類審査)	最終選考会(プレゼンテーション審査)
6月18日(月)	9月10日(月)
実地調査	
6月28日(木)～7月24日(火)まで	

Ⅷ 推薦機関一覧 (順不同)

朝日信用金庫	西武信用金庫	SMK株式会社
株式会社きらぼし銀行	世田谷信用金庫	株式会社青月社
興産信用金庫	東京信用金庫	駐日ブラジル連邦共和国大使館
西京信用金庫	東京中小企業投資育成株式会社	株式会社東京大学TLO
さわやか信用金庫	東京東信用金庫	長崎大学
株式会社商工組合中央金庫	株式会社日本政策金融公庫	町田商工会議所
城南信用金庫	フジサンケイビジネスアイ	
城北信用金庫	株式会社みずほ銀行	
昭和信用金庫	株式会社三井住友銀行	
巢鴨信用金庫	AIM(志)&コンサルティング研究所	

Ⅸ 「勇気ある経営大賞」過去受賞企業一覧

(第1～4回 2003～2006年)

回数年	賞 種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第1回 2003年 (H15年)	大 賞 優秀賞	株式会社メディネット	平成7年	「免疫細胞医療法」における医療機関への支援(サービス)	横浜市
		株式会社キャドセンター	昭和62年	建築シミュレーション等ビジュアルコンテンツ制作(情報サービス)	新宿区 【現:千代田区】
		株式会社生活の木	昭和30年	ハーブ関連商品の製造・販売(小売)	渋谷区
		日本風力開発株式会社	平成11年	風力発電所の開発・運営(エネルギー)	港区
		株式会社ピー・ジー・エム	平成10年	ヨーロッパ古着の量り売り(小売)	目黒区
	特別賞	マイクロニクス株式会社	昭和60年	電子計測器・情報通信機器の開発・製造(製造)	相模原市 【現:八王子市】
		マノ精工株式会社	昭和23年	切削による精密金属加工(製造)	立川市
		株式会社太新	平成8年	養殖魚の生産、水産物の加工販売(卸売)	港区
		株式会社ダイワハイテックス	昭和53年	書籍の包装機械・副資材の製造・販売(製造)	板橋区
		株式会社ファイマテック	昭和62年	重質炭酸カルシウム(製紙用顔料)の製造(製造)	港区 【現:千代田区】
第2回 2004年 (H16年)	優秀賞	フットマーク株式会社	昭和21年	水泳用品・介護用品等の企画・製造(製造)	墨田区
		株式会社アイエス	平成10年	ペットボトル等のケミカルリサイクル技術開発(サービス)	港区
		株式会社アパレルウェブ	平成12年	ポータルサイト運営、ビジネスマッチング(サービス)	中央区
		エビナ電化工業株式会社	昭和21年	特殊めっき加工(製造)	大田区
		大智化学産業株式会社	昭和41年	電子部品素材の水溶性加工溶剤の開発・製造(製造)	墨田区 【現:中央区】
		株式会社木村技研	昭和23年	各種トイレ・水処理システムの製造・施工(製造)	世田谷区
		坂田電機株式会社	昭和27年	土木・建築関連の計測機器の開発・製造(製造)	杉並区 【現:西東京市】
		株式会社シナジー	昭和59年	システム開発製造・販売(サービス)	品川区
		株式会社日本パープル	昭和47年	機密書類・情報記録媒体の集荷・抹消処理・保管(サービス)	港区
第3回 2005年 (H17年)	大 賞 優秀賞	株式会社サキコーポレーション	平成6年	プリント基板実装工程向けの自動外観検査装置の開発(製造)	港区 【現:品川区】
		株式会社アキュラホーム	昭和53年	住宅建築、工務店経営コンサルティング(建設)	さいたま市 【現:新宿区】
		株式会社アタゴ	昭和15年	各種屈折計(濃度測定)の開発(製造)	板橋区 【現:港区】
		株式会社ウェルシィ	昭和60年	地下水膜ろ過システムの製造・メンテナンス(製造)	中央区 【現:品川区】
		エム・アンド・エスファインテック株式会社	平成10年	ガラス研磨装置の開発・製造(製造)	港区
	特別賞	東成エレクトロビーム株式会社	昭和52年	電子ビーム・レーザによる金属部品の受託精密加工(製造)	西多摩郡瑞穂町
		マイルストーン株式会社	平成10年	プラスチック小型非球面レンズの開発・設計(製造)	府中市
		三鷹光器株式会社	昭和41年	医療・産業用の光学機器等の開発・製造(製造)	三鷹市
		ミナミ株式会社	昭和55年	半導体表面実装用スクリーン印刷機の開発・製造(製造)	府中市
		株式会社ワールドケミカル	昭和46年	油回収ポンプ・システムの開発・製造(製造)	港区 【現:台東区】
第4回 2006年 (H18年)	大 賞 優秀賞	イデアールプロジェクト株式会社	平成15年	リノベーションを主とする不動産開発の企画・運営(不動産)	目黒区
		株式会社ロコモジェン	平成13年	ゲノム創薬に基づく医薬品・診断薬の研究開発(サービス)	港区
	特別賞	岡野工業株式会社	大正13年	痛くない注射針等の金属加工業(製造)	墨田区
		株式会社ダイマジック	平成11年	3Dオーディオシステムを活用した音響機器開発(製造)	千代田区
		京王電化工業株式会社	昭和43年	各種メッキ処理、環境対応型メッキ技術の開発(製造)	調布市
		スターウェイ株式会社	平成11年	再利用梱包箱を利用した物流業(サービス)	港区
		株式会社大和テクノシステムズ	昭和42年	理科学機器パーツの精密加工・開発・設計(製造)	町田市
第4回 2006年 (H18年)	特別賞	株式会社日進産業	昭和52年	特殊多機能性塗料の研究・開発・製造(製造)	板橋区
		株式会社橋本鋳造所	明治45年	多品種鋳造品の製造・販売(製造)	大田区
		株式会社松崎マトリクステクノ	昭和17年	繊維編織機械、繊維製品の開発・製造(製造)	板橋区
		株式会社明王化成	昭和44年	電子部品精密成形、精密金型設計製作(製造)	大田区
		株式会社ユニフローズ	昭和60年	分析装置用マイクロポンプの開発・製造(製造)	あきる野市
	特別賞	有限会社酒舗まさるや	昭和43年	地酒と本格焼酎を専門とした酒の販売(小売)	町田市

（第5～9回 2007～2011年）

回数年	賞 種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第5回 2007年 (H19年)	大 賞	株式会社チバダイス	昭和41年	小型精密歯車の開発・設計・製造(製造)	葛飾区
		東光薬品工業株式会社	昭和36年	白血病治療薬の開発・製造(製造)	足立区
	優秀賞	株式会社イピサ	昭和40年	自社ブランド革製手作りバッグの製造(製造)	港区
		京西テクノス株式会社	平成3年	全メーカーの計測・医療・通信機器の保守・修理(サービス)	八王子市【現：多摩市】
		昭和測器株式会社	昭和43年	様々な分野における振動計測器の開発(製造)	千代田区
		株式会社東京信友	昭和58年	聴覚障がい者用情報伝達機器の開発(製造)	新宿区
	特別賞	株式会社浜野製作所	昭和53年	レーザー加工・金型・精密板金・プレス加工(製造)	墨田区
		株式会社ワールドバイオニア (現：ダブル・ビー株式会社)	平成3年	聴覚障がい者向け機器製造及びサポートサービス(製造)	中野区
		株式会社ヤマグチ	昭和40年	地域密着型家電小売業(小売)	町田市
第6回 2008年 (H20年)	大 賞	株式会社エリオニクス	昭和50年	ナノテク研究用の超微細加工・分析装置の開発(製造)	八王子市
		大和合金株式会社・三芳合金工業株式会社	昭和16年 昭和38年	特殊銅合金の開発・製造(製造)	板橋区 埼玉県入間郡
	優秀賞	日本分析工業株式会社	昭和40年	液体クロマトグラフの開発・製造(製造)	西多摩郡瑞穂町
		株式会社マルコム	昭和48年	はんだ付け関連装置及び核酸抽出装置の開発(製造)	渋谷区
		株式会社メトロール	昭和51年	機械式高精度接触センサの開発・製造(製造)	立川市
		株式会社リーテム	明治42年	廃棄物処理及び環境コンサルタント(サービス)	千代田区
	特別賞	有限会社原田左官工業所	昭和24年	左官工事及び湿式工事(建設)	文京区
第7回 2009年 (H21年)	大 賞	坂口電熱株式会社	大正12年	あらゆる産業向けのヒーター及び部品の製造・販売(製造)	千代田区
		株式会社井口機工製作所	昭和30年	ボールベアリングを用いた搬送用装置の製造(製造)	練馬区
	優秀賞	株式会社相馬光学	昭和51年	光を利用した分析・測定・計測機器の開発(製造)	西多摩郡日の出町
		株式会社田代合金所	大正3年	錫合金を用いた内装建材の製造(製造)	台東区
		株式会社ヒキフネ	昭和7年	装飾・機能・精密などあらゆる種類のめっき加工(製造)	葛飾区
		株式会社OKUTA	平成4年	自然素材を利用した住宅リフォーム(建設)	さいたま市
	特別賞	株式会社環境経営総合研究所	平成10年	古紙と樹脂を混練・成形した紙製容器等の製造(製造)	渋谷区
		久米繊維工業株式会社	昭和10年	国産オリジナルTシャツの企画・製造・販売(製造)	墨田区
		グラバックジャパン株式会社	大正14年	印刷、紙器製造、レンズシートの製造・販売(製造)	墨田区
第8回 2010年 (H22年)	大 賞	アルケア株式会社	昭和30年	医療・福祉・健康分野器具の開発・製造(製造)	墨田区
		日本理化学工業株式会社	昭和12年	チョークを中心とする文具・事務用品製造(製造)	川崎市
	優秀賞	株式会社オプナス	昭和5年	自動販売機・住宅ドア等の錠及び鍵の製造(製造)	千代田区
		株式会社グルメン	昭和59年	日配食品を中心とする食品流通(卸売)	港区
		株式会社長津製作所	昭和25年	精密プラスチック金型の設計・製作(製造)	川崎市
		株式会社マテリアル	平成4年	非鉄金属材料販売、精密機械加工(製造)	大田区
	特別賞	株式会社ミラック光学	昭和38年	精密光学機器・位置決めステージ等の製造(製造)	八王子市
		アラヤ株式会社	平成16年	製品の取扱説明書等の多言語翻訳(サービス)	目黒区
		株式会社大麦工房ロア 有限会社モーハウス	昭和61年 平成9年	大麦を使った菓子・食品の製造・販売(製造)	足利市 つくば市
第9回 2011年 (H23年)	大 賞	株式会社サカエ	昭和27年	電気機械器具製造業(シーヒーター、シュレッダー、検査用医療機器等の製造・販売)(製造)	港区
		アトムメディカル株式会社	昭和13年	医療機器の製造、販売、輸出入及び保守、メンテナンスサービス(製造)	文京区
	優秀賞	小杉造園株式会社	昭和18年	庭園のデザインから施工、メンテナンスまでの一連の業務請負(建設)	世田谷区
		株式会社データ・テック	昭和58年	車載機「セイフティレコーダー」の開発、販売及び支援業務(製造)	大田区
		株式会社旅籠屋	平成6年	ロードサイドホテルチェーン「ファミリーロッジ旅籠屋」の経営(サービス)	台東区
		深中メッキ工業株式会社	昭和27年	電気メッキ業(主に、電子部品の表面処理)(製造)	墨田区
	特別賞	福永紙工株式会社	昭和38年	印刷・紙器加工(製造)	立川市
		株式会社ベアーズ	平成11年	家事代行、介護支援、子育て支援、ハウスクリーニング(サービス)	中央区

（第10～15回 2012～2017年）

回数年	賞 種	会社名	創業	主な事業内容(業種)	本社所在地【現在地】
第10回 2012年 (H24年)	大 賞	株式会社日本レーザー	昭和43年	レーザー・光学機器製品の輸入販売及び自社品開発販売・サービス(卸売)	新宿区
		株式会社鬼塚硝子	昭和42年	各種ガラス機器、CO2レーザー、電界放出型X線管の製造販売(製造)	青梅市
	優秀賞	有限会社清田製作所	昭和38年	半導体関連電子部品回路検査装置用コンタクトプローブ製造・販売(製造)	北区
		株式会社コヤマドライビングスクール	昭和32年	自動車教習所(サービス)	渋谷区
		ダイヤ精機株式会社	昭和39年	自動車メーカー及び部品メーカー向け精密部品・治工具・設計(製造)	大田区
		株式会社田中医科器械製作所	大正5年	手術用鋼製手術器械の製造販売(製造)	北区
	特別賞	武州工業株式会社	昭和27年	自動車用金属加工部品・医療機器部品製造、自動制御機械製作(製造)	青梅市
		山万株式会社	昭和26年	建築設計施工、宅地造成販売、不動産売買、仲介、賃貸、鉄道事業(建設)	中央区
第11回 2013年 (H25年)	大 賞	株式会社内野製作所	昭和2年	新車開発用の歯車試作からF-1や航空産業用の歯車までを製作する製造業(製造)	八王子市
		カネパッケージ株式会社	昭和51年	各種緩衝剤・設計・試験・製造・販売(製造)	入間市
	優秀賞	株式会社西尾硝子鏡工業所	昭和7年	商業施設で使用されるショーケースなどのガラス加工・施工業務(建設)	大田区
		日進精機株式会社	昭和32年	超精密金型製造及び精密金属プレス加工、CNCパイプベンダー他製造販売(製造)	大田区
		株式会社ミノダ	昭和39年	キャラクター商品企画製造、ワッペン等刺繍加工、通販サイト運営(製造)	千代田区
		株式会社ユニバック	平成2年	フィルタ製造販売、空調設備の保守、管工事・電気工事(建設)	川口市
	特別賞	システム・インストルメンツ株式会社	昭和47年	医療、環境、健康、バイオ関連装置の製造・販売(製造)	八王子市
		株式会社清和光学製作所	昭和22年	光学精密機器・装置開発製造(製造)	中野区
第12回 2014年 (H26年)	大 賞	株式会社アイオイ・システム	昭和59年	電子関連機器の設計・開発、製造・販売(製造)	大田区
		芝園開発株式会社	昭和61年	時間貸の駐輪場、駐車場の運営管理、放置自転車対策事業などの受託(サービス)	足立区
	優秀賞	株式会社東洋ボデー	昭和31年	トラックの荷台(リアボディ)の設計・製造・販売(製造)	武蔵村山市
		有限会社エニシング	平成12年	日本伝統の帆布素材の前掛けの企画製造販売(小売)	小金井市
		東京ブラインド工業株式会社	昭和24年	各種ブラインド・間仕切りの製造・販売・保守・修理サービス(製造)	港区
第13回 2015年 (H27年)	大 賞	スタック電子株式会社	昭和46年	テレビ放送や防災無線等で用いられる高周波と光の伝送機器(製造)	昭島市
		株式会社ウエマツ	昭和33年	ポスター・カタログなどの高付加価値多色印刷物製造(製造)	豊島区
	優秀賞	株式会社CSS技術開発	昭和60年	測量サービス、土質試験、測量機レンタル、測量ソフト開発・販売(サービス)	多摩市
		北星鉛筆株式会社	昭和26年	鉛筆製造と製造時に排出する廃棄物「おが屑」の再商品化事業(製造)	葛飾区
		株式会社ヒカリ	昭和42年	理容師・美容師専用シザーズ、ネイリスト専用ニッパー開発・製造・販売(製造)	板橋区
第14回 2016年 (H28年)	大 賞	株式会社キミカ	昭和16年	アルギン酸ならびにその応用製品の製造および販売(製造)	中央区
		株式会社アスベクト	平成8年	ハイエンド3Dプリンターの開発・製造・販売(製造)	稲城市
	優秀賞	管清工業株式会社	昭和37年	下水道管路施設管理業(建設)	世田谷区
		株式会社東京インストルメンツ	昭和56年	光学機器、レーザー、計測機器の輸出入、分析装置の製造販売(卸売)	江戸川区
		株式会社マツブシ	昭和14 年	一般企業向けオリジナル刺繍商品の製作販売(製造)	足立区
第15回 2017年 (H29年)	大 賞	株式会社丸高工業	昭和29年	耐震・改修工事を中心とした建設工事全般(建設)	品川区
		協栄産業株式会社	昭和60年	合成樹脂の再生加工・販売(製造)	栃木県小山市
	優秀賞	株式会社南武	昭和16年	金型用油圧シリンダー、重工業向けロータリージョイントの設計・製造・販売(製造)	神奈川県横浜市
		株式会社協進印刷	昭和26年	高機能・高付加価値な紙パッケージの企画・製造及び提案営業(製造)	世田谷区
		株式会社ワキュウトレーディング	平成7年	マッシュルーム専門商社(卸売)	町田市

※ データは受賞当時のものです

